

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

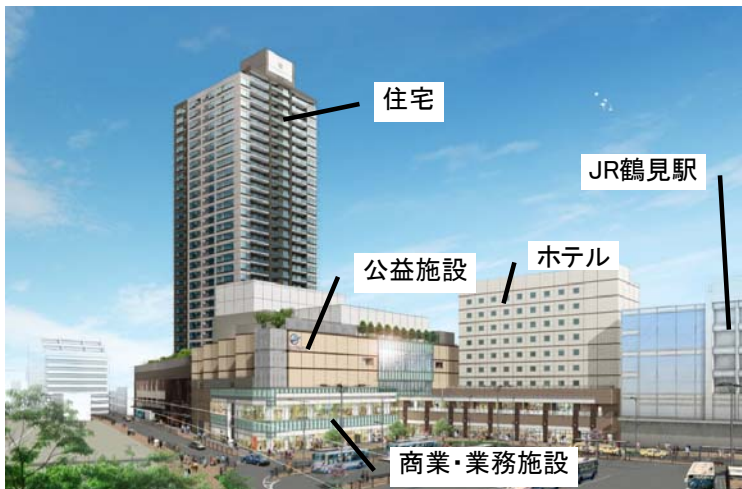
# 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業 平成22年10月 再開発ビルがオープン！

鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業は、平成20年8月に再開発ビル工事に着手し、駅前広場拡幅などの公共施設、区民文化センター等の公益施設、都市型住宅、商業・業務施設、ホテル等の工事を進めています。

平成22年度は、再開発ビルの商業・業務施設、ホテル等が10月にオープンする予定です。なお、公益施設については、コミュニティハウス・国際交流ラウンジが12月、区民文化センターが平成23年3月の供用開始を予定しています。また、ビルオープン後、駅前広場拡幅などの整備工事を進め、平成22年度末に事業を完了します。あわせて、既存駅前広場の再整備に向けた検討を行います。

【平成22年度予算額】 640,900千円  
 施設建築物工事費、公共施設整備費など

完成イメージ図



工事進捗写真(平成21年12月時点)



## 【事業概要】

- ◇鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業
  - 施行者：独立行政法人 都市再生機構
  - 施行面積：約1.2ha
  - 総事業費：約261億円
  - 施行期間：平成16年度～22年度
- ◇再開発ビル計画
  - 面積：敷地面積約8,100㎡、延床面積約57,400㎡
  - 高さ：地上31階、地下1階、最高高さ約110m
  - 用途：区民文化センター(ホール最大652席、音楽ホール100席等)、コミュニティハウス、国際交流ラウンジ、商業(飲食・物販・サービス等)、共同住宅(301戸)、ホテル(約110室)、駐車場約230台等
- ◇公共施設計画
  - 駅前広場：拡幅部約2,100㎡
  - 区画道路：市道244号線、延長約170m、幅員6.5→12m



# シークレイン

※再開発地区の名称：シークレイン  
 (由来：「シー」は「海」と「見る」、「クレイン」は「鶴」の英語表記を組み合わせた造語で、公募により決定しました。)